

1. 件名：「大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（3号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（10）」

2. 日時：令和3年4月27日（火） 13時40分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門

塚部管理官補佐、宮本安全審査専門職

長官官房技術基盤グループ

システム安全部門

池田技術研究調査官、河野主任技術研究調査官※、橋倉技術研究調査官※、
中村技術研究調査官※、芳賀技術研究調査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他5名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る資料およびヒアリングスケジュール案
- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表（概要説明）
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（共通事項）補足説明資料
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（低サイクル疲労）補足説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	規制庁の宮本です。それから青い発電所。
0:00:09	3号炉高経年化技術評価30年かかるというふうな規定変更に関するヒアリングという
0:00:16	を始めます。これ前継続して適用していますけれども今日は低サイクル疲労と共通事項ということで達成サイクル疲労の方については、全体の補足説明資料全体の節減も含めてコメント回答。
0:00:35	お願いいたします。それが終わりましたら共通事項のほうに移りまして、コメント回答というところになるかなという期待しています。では関西電力の方からまず低サイクル疲労の全体説明、それと前回のヒアリングでの
0:00:54	確認事項ですか。それについて説明をお願いいたします。
0:01:01	関西電力のムラタですが、それでは低サイクル疲労の補足説明資料を用いまして説明させていただきます。
0:01:11	この番号は④になります。早速1ページ目から説明いたします。1ポツの概要についてですが、本資料は保険対策強化のうち、タンクの議論について、
0:01:27	補足説明するものでございます。ここでは原子炉容器を代表として、具体的な評価を持つ機器の塾長その他強化対象については5個の機器以外の水消火に評価を記載してございます。
0:01:45	NIPPOの基本方針としまして、低サイクル疲労に対する評価の基本方針は本店からいちご60年時点までの期間において、審査会の、及び実施ガイドの要求事項を満たすことを確認することであります。
0:02:02	ページ2-2の長期に要求事項を整理しております。
0:02:09	続いて3ページ目をお願いいたします。
0:02:13	3.1評価対象ですが、機器の選定方法を記載しております。
0:02:19	表評価対象機器代表機器は以下の①②の条件に該当する機器を抽出してございます。①低サイクル疲労に関わる評価対象結果としまして、プラント起動停止
0:02:34	それに温度圧力変化の影響を受ける機器をと対象として抽出しています。②対象設備のグループ化及び代表機器の選定閉合経年化技術評価では、評価対象機器を構造地表環境材料誤字でグループ化を行っており、設備の重要度、使用条件等を考慮してくる。
0:02:54	内対象機器を選定しています。以降の説明では、プラント安全上最も重要と考える原子炉容器代表として選定して説明していきます。
0:03:06	議論ページお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:09	3 件に評価手法について、Fがここでは評価のフローと適用規格を記載しております。
0:03:18	もうページ目をお願いします。
0:03:22	ここから代表機器である原子炉容器の評価を記載しております。
0:03:27	原子炉容器の評価部よう図 2 に記載しておりますして選定理由を時 6 の表に記載しております。
0:03:41	7 ページ目をお願いします。
0:03:44	過去条件の設定もをここでは記載しております。
0:03:50	あと条件の繰り返し回数は実施基準に基づいて運転実績に後続 2014 年度末までのサイトを行って発行回数の方を数えており、運転開始後 60 年時点の過渡回数を設定しております。
0:04:06	国会葬祭稼働回数策定方針特記事項っていうのは表 3 に通わとか移送の略式のずさん、実績を回数及び名平均過渡回数の算出における評価上の取り扱いお手数 4 に、
0:04:23	疲労評価に用いた過渡回数は基本ように生命しております。
0:04:28	具体的には下の①②に進みます計算式で回数を設定しております。
0:04:36	8 ページ目をお願いします。
0:04:39	この表 3 でアドバイス 3 点の方針の事項記載しております。
0:04:46	ここでちょっとコメント書いといてさしあげたいのですが、No.10 項目なバリューについて、20 円引いてあるところがございます。許可用過渡回数の余裕として、大飯 3 号炉については 1.5 とすると。
0:05:02	具体的な数値を明記させていただきました。
0:05:06	ページ 9 をお願いいたします。
0:05:11	Nさんについて経営停止プラント停止の方も評価を回数も弱収蔵示しております青色の実線で 2015 年 3 月までの実績過渡回数を示しており、赤色の実線で運転 60 までの推定過渡回数を示しております。
0:05:30	づいたKH需要をお願いします。
0:05:37	受注を表 4 名見て取りかえ取りかえスタッドボルトの人とかに用いた過渡回数を記載しております。
0:05:47	この表 4 がページで 12 まで続きますが、詳細は割愛いたします。
0:05:56	その通りで 13 ページをお願いします。
0:06:02	仕入応力解的疲労累積係数算出の小記載しております。
0:06:07	原子炉容器の各部位及びスタッドボルトについて改訂献血に従い、大気中の疲労評価を行う。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:16	原子炉容器各部位の設定基準については環境疲労評価手法に従い、環境効果を考慮した疲労累積率を算出します。
0:06:25	おります。
0:06:27	解析フローについて掲示 14、15 分後に示しております。
0:06:34	詳細は割愛いたします。
0:06:38	続いて 16 ページをお願いします。
0:06:42	D の評価結果についてですが、
0:06:46	統合の方に
0:06:48	外気環境中及び設定器単協考慮した疲労評価を行った結果、いろいろ累積係数が 1 を下回る結果となっております。
0:06:58	時注 7 をお願いします。
0:07:02	来本編に現状保全についてですが、6 の通り運ぶに対して超音波探傷検査や政党探傷検査等で行われており、異常がないことを確認しております。
0:07:16	人事課長をお願いします。
0:07:20	総合評価といたしまして、
0:07:23	運転開始後 60 年の供用を想定した原子炉容器の疲労評価結果は疲労累積係数が一応下回り疲労割れの発生やもん問題となる可能性はないと考えます。ただし疲労評価は実過渡回数に依存するため、
0:07:40	今後も床と回数をし評価する必要がありますとして、4.4 高経年化への対応といたしまして、
0:07:49	サイクル疲労については、実績過渡回数の確認を継続的に実施 1 運転開始後 60 年時点の推定回数を上回らないことを確認して参ります。
0:08:01	19 項目をお願いします。1、
0:08:06	向き合うからページ 22 にかけて、原子炉容器以外のマイクロ疲労評価結果一覧を記載しております。
0:08:14	原子炉容器農業に環境中及び設定器環境考慮した評価結果を示してございます。
0:08:21	いずれの機器においても、疲労累積係数が 1 を下回る結果となっております。
0:08:29	ページ 23 をお願いします。
0:08:37	審査ガイドへの適合性についてですが、表 9 に低サイクル疲労の要求事項の対比を記載しておりますが、先ほどまで説明した通りの要求事項を満足しているものと考えます。
0:08:52	H24 をお願いします。
0:08:57	6.2 長期施設管理方針として、今日中に記載の通り定めております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:04	大飯発電所原子炉施設保安規定に記載して確認する二重システム参りたいという次第でございます。
0:09:16	組は以上になりますが、
0:09:20	別途説明したほうがよろしいですか。
0:09:23	施設をミヤモトれず、当そうですね別紙つなげたいという私の方から事前に伝えるべきだったかもしれませんが、採決 20 ページから 80 分ぐらいずつ説明しろ説明いただいても形で、
0:09:39	それぞれのケースのほうも開通までって形ではコメント回答のところも含めて、
0:09:47	少し説明いただけますか。
0:09:50	関西電カムラタです承知いたしました。それでは別紙の 1 からかいつまんで説明させていただきます。
0:09:58	別紙 1 は過渡回数推定値の算出更新後記載しております。
0:10:05	運転開始後 60 年時点での過渡回数は、次の通り設定してますということで、 ①-2 取替機器②の取替機器それぞれ機械の計算式で経営計算が 3 探しと してます。
0:10:21	いえ、別紙 1-2 をお願いします。
0:10:27	ではプラント起動の運転開始後 60 年時点の
0:10:32	誤解して算出。
0:10:35	予期されてます。
0:10:38	記載の通りですが、 $26 + 0.85 \text{ 年} \times \text{余裕 } 1.5 \times \text{やっぱりプラントライフ } 35 \text{ 年}$ 。
0:10:49	つなぎ込む 71 回としてまして、74 回、私は 74 回ってというのは、停止プラント 停止の回数に合わせて保守的に 74 分。
0:11:00	しているというものでございます。
0:11:03	もう
0:11:06	続きまして、道も 7 ページに、
0:11:14	無償のインチあるんですけども、これは微小との
0:11:19	東海層に消火等を
0:11:23	起動等キリスト漏えい試験の一層後に分類してましてそれぞれのアポっていう すると回数が何かになるかというものを整理したものを県に期待してます。
0:11:39	店舗さんと 1-11 ページですが、
0:11:45	ここで大飯 3 号で未経験の項目については電力共同景気に基づき、年平均 過渡回数も込めて 60 年時点の過渡回数を決めていますか。
0:11:58	いったものでございます。別紙 2 をお願いします。
0:12:08	別紙 2 では、建設時に考慮されていない計算能力振動の抽出プロセスにつ いて記載してます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:15	少ずつまんで系統読ませていただきます。農業銘柄ぐらいで、原子力発電所の高経年化対策実施基準附属書Aもできるメカニズムまとめ表を参考に抽出しています。
0:12:32	やっぱりも運転経験により建設時考慮されていない病院が応力変動箱根規制相場想定される部分については丁寧かメカニズムをまとめる人でいろいろ想定部位として記載されておくと件目か二相一覧表に点検清掃が生じる箇所において想定量なっているため込むについて抽出してます。
0:12:53	日本機械学会の配管の高サイクル疲労に関する評価指針で損傷事例より記載されているため、これを参考にしています。
0:13:03	連通口による損傷事例としては(1)から(4)のフェイルセーフとかっていう、これについて、それぞれここによるかどうかというのを黒丸で四つ書かしていただいています。
0:13:15	結果的には運転操作型のエクセル表にしといて欠格に想定を超えない許容値を満足することを確認してます。一方でキャビティフロー等については
0:13:27	水位が回避できているというふうに判断してます。
0:13:32	2-1 ページの採用、のぶんですけども、エネかメカニズムまとめ表成功の知見については、先行評価プラントの懸念低迷幹事長課長参考にするとともに、
0:13:47	それで、次の2-2 ページに示す、国内外の新たな運転経験及び最新知見についても抽出している懲戒の反映要否を検討した結果、新たな誘因なんていうされてる。
0:13:58	応力変動が外された部位はないということを確認してます。
0:14:04	別紙の3。
0:14:07	お願いします。
0:14:12	ここでは原子炉代表機器である原子炉容器の疲労累積係数の算出根拠について記載しております。
0:14:19	解析モデルや材料物性値応力分類、
0:14:24	そうはいつてましてちょっとモデルんだ、ほとんどマスキングがなるっていう
0:14:29	説明は割愛させていただきたいと思います。
0:14:34	別紙4をお願いします。
0:14:39	ここではクラッドにより環境疲労評価不要とする部位のクラッド確認についてということで、
0:14:46	ステンレス高等のクラッドにより設備していない環境疲労評価を行って欠席していないとして環境評価を行っていないと無理があるとしては、原子炉容器加圧器蒸気発生器が2ます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:01	これらの機器のクラスを施工部については定期的に目視点検を行い、異常がないことを確認しています。それから等については、4-2 ページ。
0:15:12	今日の 4-3-4 に記載してます。
0:15:17	続いてメッシュをお願いします。
0:15:21	環境疲労評価で考慮している溶存酸素濃度についてですが、
0:15:26	環境機能強化照明は作業疲労補正係数する。
0:15:30	線源に溶存酸素が提供する場合として、営業金庫が定められております。
0:15:38	こういう 3 号炉の高経年化権限が技術評価書においては、あそこ営業近郊の徹底的部位のうち、溶存酸素を考慮して環境評価を行った行為の通りで、蒸気発生器そこ配管でございます。
0:15:52	給水の溶存酸素濃度は 0.05 以下利点連合機器への移管等除熱として新たにしているので、外部の環境疲労評価に対しては 0.005ppm。ほいます。
0:16:10	それぞれ別紙 P-6 をお願いします。
0:16:15	別紙 6 には、環境疲労評価手法における環境効果補正係数の算出方法について、各機器の各部位が、
0:16:25	人の算出方法で出したっていうのを 6-2 ページの 2Pd か、
0:16:33	ドライアップしていただきました。
0:16:35	別紙 7 を御願います。
0:16:41	べしきながらですが、ここでは、原子炉容器以外も、今代表機器以外の疲労累積係数の算出根拠について、
0:16:50	いっぱいモデリングとかの補欠定例記載しているものでございます。
0:16:58	は説明を割愛させていただきたいと思います。
0:17:03	別紙 8 についてですが、
0:17:07	こちらについては以前のヒアリングで説明させていただいておりますので、割愛させていただきます。
0:17:15	別紙 1 についてですが、
0:17:18	これも以前説明したもので、今回コメント回答を含むものでございます。
0:17:25	コメント回答の部分について組合員各位いただきます。
0:17:30	コメント反映に証明
0:17:35	議論を
0:17:36	日右下の図でも確認したい。
0:17:40	保険で変更さんを 1 というものがございまして、これ令和を投げたモデルのしろ名称の管理はどのように行っておりますこと、というふうに流れております。こちらについて別紙 9-4 ポツ以降に書かして、
0:17:57	回答書かせていただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:01	都会コマンドで読ませていただきます三次元解析モデルにおけるメッシュの管理方法をしまして、車両は植物の許認可申請等に係る解析業務を行う際に、
0:18:14	調達先に対して品質向上ガイドラインに従った品質管理の実施を要求しており、
0:18:21	当社も調達先が定めた解析業務計画に従って実施しているプロセスの確認をしております。
0:18:29	そのプロセスの説明の中では入力根拠の明確化や排水試験結果の検証が定められており、これらの活動を解析実施者だけでなく、審査を含む組織として適切に実施していることを我々は審査で確認しております。
0:18:47	例えば調達先日本でバッファFEMモデルを策定にあたって適切なメッシュ分割になっていることを、適切な評価断面を想定した分割になっていることを、入力根拠の明確化。
0:19:03	解析結果の検証の段階で確認しているの妥当性を確認しております。
0:19:09	そのようなチェックポイントというのは、調達先内部のチェックシートを用いて組織的に確認しています。
0:19:16	具体的な解析モデル作成の知見は調達先のノウハウであって、イメージすることは困難ですが、
0:19:24	技術文献記載の知見や解析結果のフィードバックを向こうに調達先社内標準。
0:19:33	F参照マニュアルが整備されているそれらとの整合性を確認して解析者が低いのでいろいろ遊びして承認を経て解析が実施される仕組みとなっております。
0:19:45	以上で在庫の疲労の説明とコメント回答を
0:19:49	終わります。
0:19:53	規制庁ミヤモトですありがとうございます。
0:19:56	教育全体説明いただいたところですが、ちょっと私の方から資料の中身についての基本的なところを確認させていただきたいところがあります。
0:20:14	13 ページのところ、暴力解析
0:20:19	いうところで共有状態ゆとりの各条件に対して五つの
0:20:26	いい感じは考慮しておくか事業を行い、
0:20:30	うちよ
0:20:32	応力の組み合わせっていうことを考慮して書いたんですが、これは代表機器でっていうところで書いてあると思うんですけど、やっぱり代表機器以外も同じような考え方だっということはずいよろしいんですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:46	それでいいのか、ムラタです対象期間についても同様の考え方でございます。 その冷水な
0:20:54	もう
0:20:55	が遠いか行き来以外でっていうところで、いろんな来類について、
0:21:03	疲労評価されていると。
0:21:06	いうところ。
0:21:07	なんですけれども、
0:21:09	例えば、
0:21:12	例えばですけれども、
0:21:19	名も 2 ページ目に冷却材ポンプケーシングの
0:21:24	疲労累積係数の算出根拠っていうところ。
0:21:29	の 4 ポツに応力分類のまして、
0:21:34	ここでは先ほどで 13 ページに参りました五つの荷重、
0:21:40	組み合わせでこれを組み合わせますよというふうに言ってるんですが、その添付 2、
0:21:47	真ん中の 10 ページなんですけども、ここ見ると、
0:21:51	検層機械的荷重のところが見えなかつたりするのかなと思ったりしまして、
0:22:01	ちょっと、
0:22:02	これは
0:22:06	7-2 ページ目のほうの応力分類のほうが荷重の組み合わせのほうが、
0:22:11	合ってるのか、こっちのがちょっと少しいいで違うのか、或いは私の理解やその違うのか。
0:22:19	確認させてください。
0:23:11	規制庁ミヤモトですよ。ちょっと私の声聞こえなかったでしょうか。
0:23:16	関西電カムラタです。聞こえてございます。回答差し上げます。はい。
0:23:23	外的荷重を考慮していることは間違いないんですけども、ご指摘の通り 7-16 のフローではそう読み取れないといったところがコメントだったかと思えます。それから期間中で入れてるまま間違いでございます。
0:23:40	ここでは見えてきていなかったと。
0:23:43	はい。
0:23:45	すみません、ちょっと資料がしっかりして申し訳ないんですが、応力評価のフローというのが基本系がこれ 74 ページのところに多分なるんだと思うんですけども。
0:24:02	皆さんの方でしまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:04	14 ページのところ、これが基本系なのかなと思ってまして、別紙 7 の代表機器以外の方も万戸の設計過渡条件の圧力、熱過渡荷重の三つの方から、
0:24:19	当てはまるものを
0:24:24	何色をつけてみされてんのかなというふうに考えてんですけどそういう理解でよろしいんですか。
0:25:21	関西電力サービス別紙の 7 の各機能について適切に修正させていただきたいと考えます。
0:25:32	はい。
0:25:34	わかりました。
0:25:47	設計のミヤモトですね、別紙 7 号はちょっと私さっき言ったときに、まず気づいたところだけちょっと申し今申し上げて後は全体的に見直していただくほうがいいのかなと思いますが、
0:26:02	少し
0:26:04	伸びてもいいですか。
0:26:08	別紙 7-02 のところで、
0:26:12	SG本体の
0:26:15	看板等給水
0:26:17	議事考え。
0:26:19	ところ、
0:26:21	もう累積疲労係数の算出根拠というところ。
0:26:25	こちらは明確と応力評価フロー図が 7-28 ページにあるんですが、
0:26:31	ちょっとこれはまた違うフロー図が出てきて、
0:26:35	のかなと思いますし、
0:26:41	そうですね。
0:26:51	別紙 77 倍っていうのは図 7 の 1 次冷却材の
0:26:56	考えをですね、なの。
0:27:01	74 ページから 75 ページ目にかけて、
0:27:08	そんなの 75 ページ目の応力分類では、
0:27:12	五つの
0:27:14	いわゆる圧力、機械的いわゆる五つの荷重の組み合わせですっていうふうに、供用状態 AB で安心なんですけど、
0:27:23	それ多分対応する検討以降というのが 7-89 ページ目にありますで、
0:27:29	で、こちらのほうは、
0:27:34	そうですね。いわゆる M-部分機械的荷重、
0:27:41	ちょっと抜けてるのかな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:48	というところもあって、そこは
0:27:53	全体的に合わせたほうがいいっていうふうな感じですかね。
0:28:05	確認させて欲しい関西電カムラタです。今ご指摘のところも踏まえまして設定 値人材確認させていただきたいと思います。はい。
0:28:18	規制庁の宮本です。よろしくお願いします。
0:28:24	はい、わかりました。
0:28:55	私のほうからは以上なの規定等他に規制庁のほうから質問があればと思いま すが、熱郞で参加されている方、ハシクラさん、なかなか何かございますでしょ うか。
0:29:16	ナカムラです。特にありません。
0:29:19	ありがとうございます。
0:29:20	ハシクラです。同じく質問に対する回答として特にこちらコメントございま せん。
0:29:28	はい。
0:30:00	はい。
0:30:03	はい。
0:30:04	規制庁から政策議論については、
0:30:08	特に
0:30:10	現時点ではとてと何かコメントはございませんが、関西電力の方から何かござ いますでしょうか。
0:30:19	仕方電カムラタです特にございません。
0:30:23	はい。
0:30:24	それでは日当低サイクル疲労のほうは以上では拒否ぐるみで終わりにしたい と思います。
0:30:37	次が共通事項の方。
0:30:41	になるかと思うんですね、コメントの整理表を反映製品をちょっと示していただ けますでしょうか。
0:30:49	はい。
0:31:33	関西電力原子力事業本部です。続きまして共通事項の説明はいらしたさせて いただいてよろしいでしょうか。はい、共通事項のほうに持って進んでくださ い。
0:31:56	はい。
0:31:57	関西電力の内山です。来共通事項ですけれども、起因事象だったり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:06	当分の関係とかいろんなものがあるんですけども、説明の仕方としては、コメント反映整理表の上から順番にという形でよろしいでしょうか。そうですねまあ。
0:32:19	もうさっきあのから含めた形でまず一体的たほうがいいかなと思います。
0:32:25	そのあとは、輸送賠償っていうところがあると思いますので、そちらへJA新聞連
0:32:34	そういった方がいいんじゃないかなと思ってますが、
0:32:38	はい、承知いたしました。
0:32:42	あるとか、
0:32:45	また関西電力の内山でございます。共通事項のコメント反映整理表の6番7番8番さ、説明させていただきますと、まず6番ですけれども、こちらは本設本職の方の
0:33:01	コメントを行っております、本目の19ページのところの説明で日当初計画という記載をしているんですけども、規制庁さんの方から法令改正により、名称として品質マネジメントシステムということになっているのではないかというコメントをいただいております。
0:33:19	令和農村回答ですけれども、目的のガイド通りですね、法令改正によって現在経営名称がええと品質マネジメントシステムってここに変わっております、当社の空き家のほうもそのような名称に変更になってございます。
0:33:36	したがいまして、本冊のほうの19ページに書いている品質保証計画等々解決ところの変質補助品質マネジメントシステム計画等に調整させていただきたいと思っております。こちらについては、回答こっち。
0:33:53	今お話をさせていただいております、コメントの完了本部の補正でをもって捨てる完了した時に終了とさせていただきたいと思うんですけども、よろしいでしょうか。
0:34:09	ミヤモトです。はい。
0:34:12	そういうやり方しかないかなと思います。
0:34:16	はい、承知いたしました。
0:34:19	そうしましたら共通事項の7番になります。
0:34:27	まず7番ですけれども、保全今期でスポーツの取り組みについて説明することということで、こちらにつきましては、教訓事項の別紙10ページをご覧ください。そのページの10-1というところになります。
0:34:49	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:51	はい。説明進めてください。はい。スパーク当然AirCoreに係る取り組みについて説明させていただいております。当初購入して購入発注しても直ちに政策送達するものが困難であったり、
0:35:07	用途が限定されて他に流用することが困難であるなどの基準を満たして上下すべき最低限度のものを予備品として常備することにしております。これは予備品につきましては社内標準で
0:35:22	に従いまして品目、数量等管理しております、また必要に応じて標準に基づく社内手続きを経て、数量なり物品を書いてあり、追加したりとかですねそういった見直しを行っておりますという形で
0:35:39	更新していくという形にしております。当本部のですけれども安全上重要な案件につきましては、プラントメーカーとの照明川供給してございますので、それらの機器が製造中止になるような場合は、当初事前にそれをメーカーからそれらの情報を入手しております、
0:35:58	その都度ですね、製造中止品を制度として予定品の必要数を確保してあらかじめ予備品として確保するなり、経験は取りかえを計画するということをして対応すると、そういうことを
0:36:14	御欠席でございます。
0:36:16	要はSPARTに関する取り組みになります。
0:36:23	続きまして、先に書いてないってしまうという講師でしょうかね。
0:36:28	お願いします。はい。
0:36:31	それでは、8番になります。こちらは現状保全英国に当たりまして文書体系における現状保全に係るプログラムを具体的に示すことということで、
0:36:45	共通事項としまして、お酒年間標高まで実施するにあたっての文書体系の説明はしているんですけども、もう一つ具体的に保険に関するプログラムについて説明するというのを認識しておりますが、こちらにつきましては、やっぱり別紙 11、
0:37:04	下のページの 11-1、こちらをご覧ください。
0:37:11	ところで、こちらに当社の品質マネジメントシステムの文書体系における現状保全に係るプログラムを示しております。遠い 3 号炉の設備の具体的な保全コラムを保全プログラムを規定する文書は、募集補修業務所則
0:37:28	主要業務所則指針土木建築業所則老後建築業務所則指針がございまして、これは標準に従いまして、保全の対象範囲の特定保健常陽側の設定と当然指針の策定と

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:44	保全計画の策定点検結果の確認評価といった保全プログラムが実施しております。なお、これらのうち、時間的に電気設備については、説明情報管理保全指針点検計画、工事記録、そこは懸案処理。
0:38:02	作業管理計画といったものを1業務管理できるように、当然原子力保全総合システムというシステムを構築して保全プログラムの運用に活用してございます。
0:38:13	後ですね2次系配管の減肉管理ですけれども、こちらについては別途定める二次系配管肉厚の管理指針のございまして、これらにより、点検計画の策定点検の実施時期より他との措置ということを行うとともに、
0:38:31	こちらについても、原子力配管肉厚管理システムというのを構築しまして、当時限界にしております。
0:38:39	への運転管理としましては、発電業務所則によって設備の巡視監視及び巡視点検等の定めて運用しまして、そこへ箇所早期発見事故の未然防止を図るようにしております。
0:38:54	またカード管理業務所則によりまして数字推奨管理を行っております、各系統の水質が管理値を満足していないと判断した場合は水処理によって適切な措置を講ずることとしております。以上が当然に関するプログラムになります。
0:39:13	以上になります。
0:39:16	規制庁の山本です。ありがとうございます。
0:39:24	別紙10—スペアパーツについて、
0:39:27	操作のを教えていただきたいんですが、
0:39:31	土曜日金融必要に応じて社内手続きを得て見直してということなんですけども。
0:39:38	これは何か定期的に行う見直しを行われているのか或いは本当に必要に応じて何かそういう頻度的なところを少し教えていただけますか。
0:39:54	予備品のですね数量管理とか棚卸こういったものを定期的を実施しております。
0:40:02	アマノですが新たに追加したいとかですね、形外科とか別の方に変えとかそういうものにつきましては、所設備を持っている担当課が所管しております、これらは適宜そういう状況になったときにですね、
0:40:17	予備品の社内手続きをとって新しいものに入れたいということをしております。
0:40:27	以上になります。
0:40:31	説明ミヤモトプレス扉のAsano定期的についていうところ、津波の棚卸っていうのは結構な頻度で行うんですけれども、半年とかシティバンクとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:43	ほぼ決めてもいろいろあると思いますので、ちょっと一概に言えないんですが、
0:40:52	いわゆる棚卸のほうも、頻度とからそういう社内手続きない社内標準で決まっているっていうふうに考えてそれに基づいて見直しを行っているっていう、そういうふうに考えてよろしいですか。
0:41:11	関西電力の内山でございます。棚卸しにつきましては、れようとおっしゃった通りですね、当社の原子力発電所保守業務要綱と要項社内標準の中ですね、予備品の管理というのはちゃんと聞いておまして、その中で4品の品質終了。
0:41:28	異動等の管理を行うということを規定してございます。
0:41:48	規制庁の宮本です。江藤。
0:41:51	あとそのなお書きで書かれている安全と重要な機器、
0:41:55	いうのは製造中止になる前に事前に明確化情報入手しておりますが、これは鎖線案というメーカーの情報町っていうよりは、一つ双方向で、そういう製造
0:42:13	が続くのかどうかみたいな、いわゆる情報町ではないっていうふうに考えて、
0:42:22	でよろしいんでしょうかそれとも基本的にはメーカーからの連絡待ちに高くなるとか、
0:42:31	関西電力の内山です。今までエアコンせまして製造中止の情報管理ですけども、こちらにつきましてはメーカー待ちということではなくて、変更後のですね協議をする場を設けておまして、
0:42:47	具体的なPWR事業者連絡会とか、たかがそれあのビルのグラフで御電力そういった点のメーカーとが入ってくるか議題なんですけども、もしくは嘘もしくはそれと当社とメーカーと
0:43:04	協議してます技術情報連絡会というのを設けてましてその中の議題で共同通信の情報とかです不具合情報、そういったものをやりとりするんですけどもそこで所長非常割ったら、当社のほうに委託してくるという仕組みがございまして、そこで情報収集するということにしております。
0:43:26	いつものミヤモトです。わかりました。要は情報入手していくことで例えば情報マツエ急遽生活しなりましたみたいな形でなくそこは明確を常に技術情報連絡会な形で、
0:43:44	双方向でやっているの、いきなり制度趣旨になりましたというような連絡がどんどん来るようなことで基本的にはないものが、
0:43:56	いうふうに理解してよろしいんでしょうかって言う直ぐにいたしました。
0:44:03	関西電力ウチャマです。その通りでございます。はい。
0:44:12	規制庁からほかに議員の質問があればということですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:21	この3点ございますでしょうか。
0:44:27	コウノです。特にございません。
0:44:30	はい。
0:44:33	はい。
0:44:36	規制庁ツカベです。別紙11のほうの
0:44:41	このグラフの話なんですけど、
0:44:44	今ここで書かれてる所則
0:44:48	Kのネットマ二次文書化3ヶ所がわからないですけど、それぐらいに当たるものを列記いただいていると思ったんですけど、どちら過程と前回の指摘させていただいたのを少し細かな
0:45:03	実際のプログラムという意味で、結構これ延ばす下の
0:45:10	部署になるのかなと思っていて、
0:45:13	一旦ですが、そのあたりってなったりとか、まとまったものとか、
0:45:18	ていうか、ないんでしょうか。
0:45:29	この関西電力の内山でございます。このそこ体系的にひもづけてリスト化伴わないんですけども、今は仰られました。一番催告で実際に管理しているというものが、
0:45:46	こちらの中旬にかけてをいただいておりますのは、原子力保全、総合システムを我々M3号店でもらうんですけども、こちらの幅で、各それぞれの機器について、ボーイごとに展開して劣化モードがあっという点検をしていかなきゃならないとか、
0:46:04	定期的に取りかえるとかですね、そういったものを定めたものでございます。こちらの人システム化されているものなので、
0:46:13	膨大な量になるんですけども現地のほうで確認していただくことは十分できるとしております。
0:46:22	拝聴ですので、赤メタンガスマイナス35.35で確認され、
0:46:28	実際のシステム関連機器を管理してるのは、この存じ上げているんですけど、
0:46:35	いえ。
0:46:36	プログラムがですね、その手続き川手続きの
0:46:41	それでいいとして、
0:46:43	例えば検査をする。
0:46:47	プログラムであるとか、
0:46:49	ベント真水管理についても、
0:46:52	下に書いていただいているんですけど、これはどっか上の所則に、
0:46:58	結びつく基づくもんなのかとかですね、ちょっとその辺りが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:03	全体としてちゃんとプログラムが
0:47:07	整備されてますよというのを、
0:47:10	大飯一番詳しくご説明いただきたいなという趣旨で前回コメントしました。
0:47:23	私の文章で書かせてもらったやつをまず分類しますと、今の趣旨を踏まえて分類しますと、その施設管理として、以上でありますような補修業務所則保証業務所則指針の中で、施設間の
0:47:41	具体的な管理を原子力保全総合システムでやってるんですけどもそれが施設管理側のほうできて一番下のほうにあります運転管理、こちらの中で、
0:47:55	発電業務所則で点検パトロールすると、あとはその運転管理の中に各管理業務所則というのがありましてこちらで組織管理を行っていくと、そういう形になっております。
0:48:17	もう規制庁ツカベです。
0:48:21	NRCとかで言うところの
0:48:25	そのアクシデント真似／技術マネジメントプログラムという形でいろんなプログラムが出てきてると思うんですけど、それに当たるものっていうのは、
0:48:37	どういう形で、
0:48:39	実現されてると思えばいいんですかね。
0:48:50	うん。
0:48:52	朱記
0:48:53	壁にもウチヤマでございます。今言いまして、ページングマネジメントプログラムというところにつきましてはまず、まさにその施設管理になっておりまして、事業部としては保修業務要綱というのがありましたその発電所としては保修業務所則というのがある、それらを具体的に、
0:49:12	メールのM35システムの中で、各機器のこういうことの劣化モードを踏まえた点検をさせていると、具体的にそちらが
0:49:24	M前循環にという形になりますので、発言業務のパトロールとか隠す被覆管離隔養殖施設間というのは本店管理とようになっております。
0:49:38	規制庁ツカベです。水川のところが何点管理だというのは、はい、わかりました。その他のところの一般的なそのメンテナンスプログラム。
0:49:51	とかですね。
0:49:53	それはどこに当たるんでしょうか。
0:50:26	伐採電力のウチヤマでございます。今おっしゃられますと
0:50:32	県下に関する指針までの保全指針というのがホルストまた保全指針がございまして、その指針ハガ指針自体をこのM35システムの中で取り込んでいると、その中で見ることができるという形になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:51	はい、きちっとツカベです。社長。
0:50:54	実際、事業者さんがそのシステムで保守保管されているというのがわかっていて、それをどちらかっ
0:51:03	聞いているわけではなくて、その技術書、
0:51:07	のすべての体系でそれをどう実現されてるんですかという。
0:51:14	3点で今回、
0:51:34	はい。
0:51:35	関西電力の内山でございます。基本の画面共有SPEEDIいるされてると思うんですけども、疼痛でコウノ補足説明資料の30ページになりますけれども、こちら側の施設間に関するが文書体系になっておりまして、
0:51:52	懇規定からひもづけられるところに施設管理ちょっと繋がりましてその出荷については、その下に就業の要項でございます。この保険診療モデルのこの保修業務要綱の下に保修業務要綱指針というのがございまして、
0:52:09	投稿中から保全指針に
0:52:13	紐づけられてると、そういった文書体系本件からその文書体系の中に指針を制定するという形になっております。
0:52:23	はい、規制庁ツカベですけど、それをそこまでは理解していて、その一方その技術評価書で書いてある技術評価で、その現状保全
0:52:33	ちゃんと見てますという
0:52:36	御説明いただいていると思うんですが、その現状保全が
0:52:40	多分御一考今承知いただいて一つ下の段の整理をとりたいと。
0:52:50	読めないんじゃないかなと思っていて、
0:52:53	そこまで提示できませんかということを行っています。
0:53:34	関西電力の内山でございます。今おっしゃられましたので、今日ちょっと踏まえますと誤開を私の理解なんですけれども、
0:53:45	M3号なんかに書かれている点検を各パートごとの点検、
0:53:51	項目だけではなくて具体的にできるような点検の中で、各設備にどういう点検をしているかという。
0:53:59	羊蹄定検の絵と協力会社に作業させるときの作業要領書レベル、そういったものが、
0:54:07	文書体系の中でどうふうにひもづけられているかということを示せということによろしいですか。
0:54:16	規制庁ツカベですけどす。
0:54:18	多分そこまでは求めていなくてですね、その上でそれをご意向に、
0:54:25	どうい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:27	メンテナンスという管理をしますというのは、
0:54:31	その劣化事象等に着目して、
0:54:35	検討項目として、
0:54:37	あるんじゃないかなど。それが何らかの
0:54:41	一緒になってるんじゃないかなと思って聞いています。
0:54:50	企画サイジングウチヤマございます。何度も繰り返して大変申し訳ないんですけども、今の各機器ごとにどういった点検をしながら経営が上がらないと定めているのか、当社でまさに保全指針でそれが珊瑚システムメンバーにとっているという。
0:55:08	なっております。
0:55:12	はい、その予測システム自体は謄本規定からひもづく社内文書体系のまたに至ったときのづけられているというか、社内標準にちゃんと紐付けられたものになっております。
0:55:26	はい、規制庁ツカベです。
0:55:28	私からちよっとも未来で話しているの、このイメージだけ話してる部分もあるんですが、今の事業者さんの説明を聞くと、
0:55:39	実際その要領書のこの下のレベルでやって、
0:55:44	なものというのは、実際に作業を発注する要領書等で、
0:55:49	しかないという。
0:55:51	御説明だったと思えばいいですか。
0:56:58	関西電力の内山でございます。
0:57:02	当然法で定めている保全に関するプログラムとしては保全指針を別途定めていて、それに基づいて定期的に協力会社の方に的にさせていると、その定期点検するにあたっては
0:57:18	定検の作業要領書等、別途定めてそれに従って保全指針で必要な周期で必要なものに対する勉強させているということなんですけれども、それが実態なんですけれども、その辺の仕組みを説明しなさい。
0:57:35	文章で書けばよろしいんでしょうか。
0:57:38	生活科別途説明で神話わかりました。そしてで今言われた最後のところところ。
0:57:46	最初のところでわかるように書いていただければと思います。
0:57:53	はい、承知しました。
0:58:06	今
0:58:10	110と別紙11のほうは、はい、施設の方から以上になりますので、
0:58:16	確認は以上になるの設備次進んでください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:26	大変力飲むです。コメント反映製品協の認識でいい。
0:58:37	ページに概要。
0:58:40	コメントとして1件あるのを、これをこれからオフィオ 9Bqけど、これを
0:58:52	先ほど13社。
0:58:54	今後ページの
0:59:02	やっぱり、
0:59:05	何を言っていて、
0:59:07	いうふうな項目、
0:59:08	No.7-1のページっていうメール等申し上げるものでございますので、戻っていただきまして2ページ目かコメントが、
0:59:23	どんな国会でのなしという中に移っていただいた構造物に対しての蒸気発生器でも適切であれば、この上げることとするので、
0:59:33	こと命令別紙9に贅沢しませんもう少し上の人が本当に同等というふうに
0:59:42	はい、はい。連絡ムラタサービス鉄塔
0:59:47	No.2から5歳2ページ目のNo.19名。
0:59:54	主な改正点の主な改善の中でSCC対策を実施していると記載しているが、蒸気発生器でも実施しているのであれば、これも主な改善として挙げることを検討することとコメントいただきまして、これについて別紙9で
1:00:11	PLM評価というのを修正いただいた方針を記載しております。
1:00:21	H9をお願いいたします。
1:00:26	別紙9の今のコメントの部分については、9-2ページ目なんですけど。
1:00:35	なお蒸気発生器、冷却材理事管台のいうFPIについて評価章。
1:00:43	BF応札に弁4大飯発電所3号炉の保全海洋の改善活動の記載方針を以下に示すということで、応力腐食割れについて蒸気発生器冷却材入口管台溶接部の超音波小場所とP2号やってますよと。
1:00:59	この実績を図らせていただきたいと。
1:01:01	持ってます。
1:01:03	コメント整理表戻っていただきます。
1:01:08	右下14ページで、
1:01:10	7-1、コメントを反映整備等のNo.7-1で、
1:01:15	移転、
1:01:17	お聴聞ぱつとピーニングの効果と実施機関予定日することということで回答しましたけども、ピーニング以外にもSED対策を実施してますので、その全体的なパイを別表に記載しております。
1:01:33	別紙9に参りまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:37	1 ぽつ、600 系ニッケル基合金正午に応力腐食割れ対策といたしまして、弁閉損壊等と同じなんですけど定期の冷却材出入口管台については、第十二回定期検査時に相場とP25 施工しています。
1:01:53	後半は図 1 に示しております原子炉容器の冷却材減温出入口管台については、再循環回平均仮にどこペットピーニングを施工しています。広範囲バツに示しております。
1:02:09	また以降の新たな廃棄させていただいてます。また冷却材出口管台溶接部については、第十三回定期検査時に認められた規模削り取った後に予防保全対策として、ウォータージェットピーニングを実施しています。
1:02:25	第 14 回定期券たびに、600 系ニッケル基合金でほぼ予防的補修により※戻して、この後、600 系ニッケル基合金が 1 次冷却材と接する内面全周に対して 690 系ニッケル基合金で、
1:02:42	防滴仕様をなっています。
1:02:45	690 系ニッケル基合金は原本一致。
1:02:50	弁の位置というのは、9-4 にあるんですけども、資料の 4 ページの
1:02:57	三目電力共同研究 2 億 690 系ニッケル基合金の温度かと。
1:03:04	結果 15 規則或いは試験の結果から、応力腐食割れがあったという可能性は小さいと考えています。
1:03:13	続いて 2 ポツの
1:03:16	長丁場ソフトP2 号及びウォータージェットピーニングの効果についてですが、ここも新たに追加させていただいております。持続性については、三菱重工業株式会社のピーニングによる応力腐食割れ防止効果による研究
1:03:33	において、側端揚力が保持されていることを確認しています。
1:03:38	ちょっと今すぐ吹きます水産物のピーニング施工日コウノ権サービスのございます。検査実績は蒸気発生器の冷却材流入口管台については、
1:03:51	ショッピング施行以降の第十三回及び第 18 回定期検査時に、
1:03:59	超音波探傷検査、浸透探傷検査及び渦流探傷検査を実施して機器の健全性を確認しています。
1:04:07	原子炉容器の冷却材ビール 1 考えにくいでは、ウォータージェットピーニング施工以降の 14 回 15 回っていう 7 回及び第 8 回定期検査日に保安証券化及び振興干渉検査を実施し、機器の経年ベースを確認しております。
1:04:27	資料番号実績 9 は以上でございます。続きまして、
1:04:32	模糊どっか等で、
1:04:37	いえ。
1:04:39	今後のナンバー14。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:44	AN策について書いちゃってますコメントは、伝熱管のAM策について、
1:04:53	ハガ探傷検査実施前の線量が運転中の温度等の監視パラメーターの監視により機器の研究所確認している内容戦略ことということで、別紙 1-7-1。
1:05:09	配当期待しております。
1:05:15	はい。別紙 1-7 の 1 例あかん円筒型熱交換機で熱感のペール付託ということで、
1:05:23	言明空間スケール二つで伝熱管天井の例って、原子炉に冷却水冷却器伝熱管プラス洗浄の方法及び頻度改定ネット交換機の運転中のパラメーター監視による健全性確認の方法を説明します。
1:05:41	原子炉補機冷却というチャッキ弁が、
1:05:45	線量は、検討定期的実施しており、密閉をしております。提供方向を店舗 1 に示しています。フジのページですね、次のページに作業実施要領書の抜粋を添付してございます。
1:06:03	時戻っていただきまして、
1:06:07	大抵ね交換機の運転中も絡み
1:06:11	ノポンプとしては、定期的に 2 ヶ月に 1 回全部交換器の出入口温度を監視しており、一定の
1:06:20	なお、流体及びオーバーいっぱい 1 次冷却材であり、設計うまく管理により不純物の流入が抑制されていることから付託の可能性は小さいと考えて今
1:06:33	別紙 1-7 号、
1:06:35	1 年とってはいた。
1:06:38	続きまして、結構立地の
1:06:47	コメント No.18 エフ・シー・シーの容器加圧器本体で。
1:06:54	31-1 弁目構成のヒータスリーブでの FPC による損傷事例に監視型応力腐食割れの特徴民間研究での勘定試験の試験条件及び結果を示すことということで別紙 1-5-2。
1:07:11	委員長申し上げます。
1:07:16	はい。系加圧器ヒーターとリブの応力腐食割れということで、ごめんごめんと回答の説明をいたしますとおり、米国グレーズと発電所 1 号炉で簡易記録系ステンレス構成の板スリーブに確認されています。
1:07:33	別表 1 に示す通り、非隔離部の溶接部ば日程恐慌により円滑し以下つくり部といった今部で両方コンサートが高い場合にあった応力腐食割れが発生する可能性があることから、閉会中試験を実施し、閉過度に人かさ上げする部材でも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:52	酸素濃度 8ppm環境下に置かれていくか、今まで時間が時間未満では抗力兆候有りの発表は認められないという結果が得られています。一方実機におけるヒータスリーブの使用環境条件を検討した結果、4%濃度が高くなる期間は最長でもプラント初回起動時の
1:08:12	4 時間程度であるため、ヒーターと 2 部の戸畑応力腐食割れが発生する可能性は極めて低いと考えております。
1:08:22	以上、その他の経年劣化にそのコメント回答になります。
1:08:33	はい、規制庁ミヤモトですけどその他の経年劣化事象は今も
1:08:38	ヒータスリーブでのSCCのところ、
1:08:44	これを非常になる。
1:08:48	そうですねさっき 3 票は 3 項目なんですねはい。
1:08:52	わかりました。
1:09:03	じゃあ、上ぶれ参加されている興産ハシクラさん、何かございますでしょうか。
1:09:17	規制庁コウノです。
1:09:19	休暇中の別紙 9。
1:09:21	もうちょっと確認させてください。記載の方法といたしましては、非常に丁寧に実際やられたことなかれているなというふうに満たせていただきました。
1:09:34	その中でね。
1:09:39	結構、
1:09:42	別紙 9 の説明の 3 ポツ、
1:09:51	県リング施行以降の検査の実績というのはちょっと確認させてください。3 ポツの上を書いてあるのが蒸気発生器に関連してそこをECT渦流探傷検査を実施していると圧力容器のほうはUTPと
1:10:10	経験をしてるということで、ちょっと確認なんですけれど。
1:10:16	蒸気発生器のほうは内面から域をやってるん 800 病気の方は、
1:10:23	画面の通常の耐専で規定されている超音波検査と人たちを検査をやってるという、そういう理解でよろしいんでしょうか。
1:10:44	月次の当たり 6 ムラタビス蒸気発生器の仮干渉検査については来月範囲項目ではなくて、NRA文書の亀裂委託に基づいて復帰不可範囲について実施しているもので、
1:11:01	ございます。
1:11:06	題名は、
1:11:32	規制庁ミヤモトですねと。
1:11:35	今、規制庁のコウノのほうから質問させていただいた七つの最初のSGの
1:11:44	次長がと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:46	減数容器の方の
1:11:48	閉鎖で前筋のは内面からやってるんですかっていうようなところがまず最初のかなと思ったんですが、
1:11:59	皆さんそういう趣旨でよろしいん。
1:12:02	ですからまず、まず一つ目成人のほうから確認したほうがいいのかと思って るんですが、
1:12:07	はい。一つとしてはそういうことですか。でもPTAといっても罵倒。
1:12:14	浸透探傷検査、これは外面からやってるね及び書かれている渦流探傷検査 内面からやってるといふ、そういう理解でよろしいんでしょうかという、
1:12:26	拳手の上、ちょっと確認です。
1:12:38	多分そうだと思いますが、関西電カムラタです。ごめんなさい、ちょっと確認し てください。多分そうだと思うんですけど、ベント明確にさせていただきたいと思 います。
1:12:53	規制庁込むするかしました。
1:13:01	規制庁ミヤモトです。もう一つ、3圧力容器のほうの話も多分あったと思うん ですけど、この佐世保投融資CEなんですけど、今ここに一等ユーティリティーと いってディーラーある。
1:13:18	ですけどもそれも同じように
1:13:22	平たくで海面から内面からっていうそういうことを確認された格好なんでしょう か。ちょっとあの監査に行くのかということも含めてため的には該当し、なかなか かっていうのはちょっと気持ちなので、
1:13:35	すいませんちょっと
1:13:37	質問整理させてください。
1:13:41	はい。過去にここの部位で見つかった企画が見つかったというのはみんな内 面から検査したときに見つかっているという理解したというふうに理解しており ました。
1:13:54	それで今今回やられてるのはこちらから実際にやられてるのかなというのを確 認したかったということです。
1:14:08	すべてのSGのほうは、
1:14:13	ちょっと確認多分そうだろうと思ってますけど確認されるということで、町にそ ういう機能を
1:14:19	そこはいかがでしょうかというところは、関西電力さん。
1:14:24	はい、回答イされましたでしょうかちょっとその辺、
1:14:29	もちろん確認させてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:32	関西電力のムラタです。原子炉容器についても確認させていただきたいと思 います。多分内側からであると考えておりますがえのためにも使えって書いて 調べてから回答させていただきます。
1:14:52	静聴降雨よろしく願いいたします。
1:15:11	規制庁ミヤモトですねところの傘下でございますでしょうか。
1:15:20	(2)、添の 5 個と特にございません。はい。
1:15:25	規制庁宮本です。
1:15:27	ありがとうございます。江藤。
1:15:29	接着ハシクラ 3 北側でしょうか。
1:15:33	規制庁のハシクラです。ちょっと何点か確認させてください。今の別紙 9 のとこ ろなんですけれども、第十三回定期検査時に認められたきずってこれ事実確 認ですけど、SCCですよね、すみません、ちょっと確認です
1:16:03	ここのラック SCCですがあの辺は確認できなかったと。
1:16:10	マーチャン原子炉容器や現状。
1:16:17	3 ページ、すみません、関西電力イワサキですけれども今ハシクラさんおっしゃ ったのは大飯 3 号機の RV の管台の話だと思うんですけれども、これについま しては起こった場所が 600 系のニッケル基の溶接部でございまして、
1:16:34	多分 SCC ということは、
1:16:38	算定できるんですけれどもこれこれ切削しながら削って行ってまだ危惧をちょ っととりの動向という工場公園起こしましたので実際には回ってこれが我々が スタートしたわけではないんですけれども SPC だろうという判定をしておいま す。以上でございます。
1:16:58	はい、わかりました。患者さんの他のプラントも同じようなことって聞きました結 果、ちょっともう一つ確認ですけども、教えてください。
1:17:09	私はこうだっという絵と RV の出入口管台における関西電力のイワサキでござ います。RV レグ出入口管台につきましては大飯の 3 号機のみという事象でござ います。以上でございます。
1:17:26	はい、わかりましたすみませんありがとうございます。それからもう一つ、別紙 1-5-2 についてちょっと教えてください。
1:17:34	必達リブの話なんですけれども、
1:17:43	はい。ヒータスリーブそこです。ヒータスリーブの実機における使用環境条件 検討されてるということなんですけれども、これは電協研で 40 時間契約である ということで、まずは
1:17:59	ここの拡散するか酸化皮膜の形成から沼津市の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:04	逆に酸素濃度と比較して計算されたということで間違いはないですよってというのが一つ目と二つ目は、実機において、当該箇所に関しては、計測っていうのはされてるんでしょうか。これ二つ目の質問です。教えてください。
1:19:09	関西電カムラタです。
1:19:12	一つ目の質問について再度確認させていただきたいのですが、この
1:19:19	40 時間。
1:19:22	と書かせていただいている時間は
1:19:26	最後んすべきだと。
1:19:30	やっぱり酸化被膜ができるまでの時間をですかという質問でしたでしょうか。
1:19:37	そうですね。お電協研のデータから、この 40 時間っていうのを出されているんですよっていうのがまず一つすみません、一つ目の質問になります。
1:19:48	関西電カムラタです。その通りでございます。
1:19:55	はい、わかりました。二つ目は、実機において当該箇所においては、実際この時間体でも大丈夫だよということで、計測とかってされてるんでしょうか。これ二つ目です。
1:20:24	関西電カムラタです。ご質問格好にさせていただきたいんですか、計測とおっしゃられるのは、実機での時間ば幾つであったかということで評価
1:20:39	規制庁の 8 ヶ月、溶存酸素濃度をはかっていくと、当該箇所の近辺ですけども、わかってらっしゃるんでしょうかというすみません質問です。
1:21:00	関西電カムラタです。わかりませんので確認させて確認して回答させていただきたいと思います。
1:21:10	はい、すみません、規制庁です。
1:21:13	御説明鉄塔ご説明の中に移行は酸素の動画 8ppm の環境下に置かれた時間が 100 時間未満でも未満でもホールディングス悪くありの汗が認められてない結果が得られているということでしたので、実機の場合もそうなのかなということすみません
1:21:31	計測されているのかどうかっていうその事実関係を教えていただければということすみません、質問させていただいたということですけどよろしくお願いたします。
1:21:41	関西電カムラタです承知いたしました。
1:21:49	ミヤモト 3 銭私は以上です。
1:21:52	はい、ありがとうございます。
1:21:55	ドーン、
1:21:57	規制庁のほうからいきますか。はい。
1:22:02	そうした規制庁みずからはい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:07	発言では、質問確認は以上になりますので、
1:22:13	また関西電力の方から下りますでしょうか。
1:22:21	伐採電力原子力事業本部、こちらから特にございません。はい。
1:22:27	結論ミヤモトプレスでは議長のヒアリングをいただきます。また号炉ベビーカーで三つAMをセットしたいと思っておりますので、続きをしく願いいたします平成今日はどうもありがとうございました。
1:22:46	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。